

ネットワーク型コンパクトシティの形成

【政策審議室・都市計画課】

1 目的

少子・超高齢社会、人口減少時代の到来や、地球環境問題の深刻化、高度成長期に整備した道路、下水道、学校施設などの公共資本ストックの老朽化、さらには、都市の顔である中心市街地の活力の低下などといった社会的な課題に対応するとともに、広域的な拠点性や本市の都市機能を高めるため、市民の「生活の質の向上」を基本としながら、「ネットワーク型コンパクトシティ（連携・集約型都市）」を長期的に形成する。

2 概要

土地利用の適正化と拠点化の促進により、都市のコンパクト化（集約化）を図るとともに、拠点間における機能連携・補完、他圏域との広域的連携のための軸を形成・強化するなど、「ネットワーク化」（連携）を促進し、「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指す。

（1）土地利用の適正化

～都市的機能と自然環境の調和を目指した適正な土地利用～

- ・農用地・森林
 - ・宅地
- } 都市計画マスタープランの策定

（2）拠点化の促進

～それぞれの拠点における機能・役割分担の明確化と拠点規模の適正化、

都市機能の質や機能性の向上～

●都市拠点

商業、情報、交通、医療・福祉、文化・芸術、アミューズメント、教育、行政などの高度な機能が高密度に集積するとともに、本市の歴史・文化の発祥地として風格と魅力・活気に溢れた、本市の中核拠点、広域的な交流拠点の形成を図っていきます。

- ・宇都宮駅東口地区整備事業
- ・JR宇都宮駅西口周辺地区の整備
- ・宇都宮馬場通り西地区市街地再開発事業
- ・宇都宮駅西口第四B地区市街地再開発事業
- ・宇都宮千手・宮島地区市街地再開発事業
- ・市街地再開発促進事業
- ・中心市街地定住促進事業 など

●産業拠点・観光拠点

産業・研究開発機能が集積した機能性の高い産業空間、地域資源、歴史や伝統・文化を生かした観光空間の創出を図るとともに、流通・観光交流に資するアクセス性の高い拠点の形成を図っていきます。

- ・テクノポリスセンター地区の整備
- ・北東部地域観光推進事業 など

●**地域拠点**

地域の特性や周辺環境と調和した商業・住居・文化・公的サービス・交通結節などの機能を備えた、自立性の高い拠点の形成を図っていきます。

- ・雀宮駅周辺地域整備事業
- ・（仮称）第3図書館の建設
- ・岡本駅周辺整備事業
- ・土地区画整理事業の推進 など

●**生活拠点（生活圏）**

商業・住居など日常生活に対応する生活基盤，移動環境を備えた拠点（生活圏）の形成を図っていきます。

- ・土地区画整理事業の推進（再掲）
- ・身近な生活圏の公園整備事業
- ・生活交通確保対策事業
- ・自転車利用・活用の促進 など

（3）ネットワーク化の促進

～拠点間における機能連携・補完，他圏域との広域的連携のための軸の形成・強化～

●**機能連携・補完軸**

都市計画道路等の幹線道路や，路線バス，地域内交通，新交通システム等の公共交通ネットワークの整備により，拠点間機能の連携・補完のための軸の形成・強化を図っていきます。

- ・都市計画道路整備事業
- ・新交通システムの導入 など

●**広域連携軸**

鉄軌道系の公共交通機関や高規格幹線道路，地域高規格道路の整備・充実を促進することにより，近隣・近郊の都市はもとより，関東圏や東北圏における主要都市との広域的な連携軸の形成・強化を図っていきます。

- ・スマートIC設置事業 など

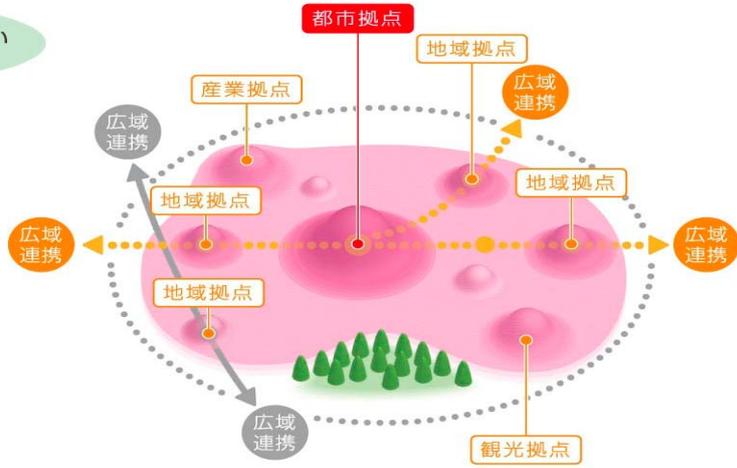
●**水と緑の環境帯（エコベルト）**

本市の東部を縦断する鬼怒川など豊かな水をたたえる清流，また，北部丘陵から市街地にくさび状に展開する豊かな緑を「水と緑の環境帯（エコベルト）」として位置付け，適切な保全に努めるとともに，各種都市機能や軸との調和を図っていきます。

- ・都市基盤河川整備事業
- ・都市緑地の保全及び都市緑化の推進 など

現在の都市の姿のイメージ

特徴やさかい目のはっきりしない
うすく広がった都市



将来の都市の姿のイメージ

高い機能性とアメニティが共生した
メリハリのある都市

将来の姿のイメージ

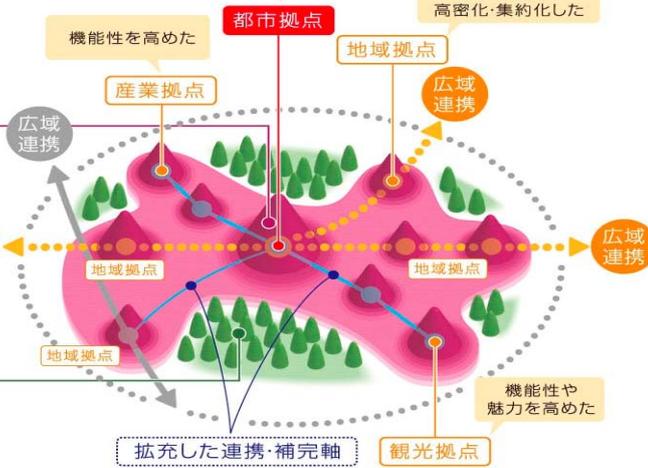


出所：国土交通省資料

広域的な拠点性・中枢性を高め
より複合的で高次の機能を備えた

機能性を高め
高密度化・集約化した

機能性を高めた



機能性や
魅力を高めた